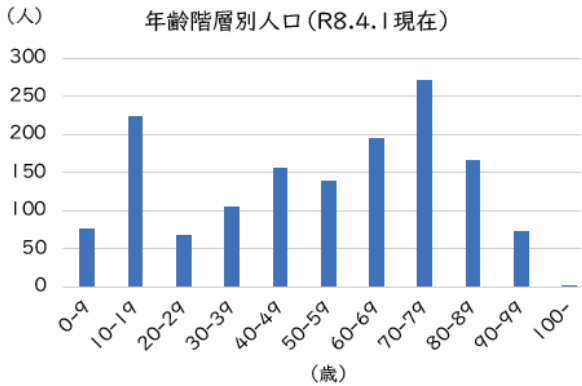


神領地区地域福祉活動計画

神領は、地理的にちょうど神山町の真ん中に当たり、役場や消防署、農協の支店に学校など、町の様々な機能が集まっています。神山温泉や道の駅など、町外からの来訪者の姿が多くみられ、近年では、サテライトオフィスや神山まるごと高専など、新たな試みが始まり活気ある場所になっています。



地域の強みを活かして 5 年後・10 年後に向けた取り組みの第 1 歩

地域住民から見た地域の状況	
地域の強み	【人とのつながり・地域の団結力】 ・近所の人があいさつしてくれる ・散歩中に声をかけてくれる人が多く、見守ってくれる人が他の地区と比べて多い ・若い人が多く、バイタリティーのある人が多い ・住民同士の関わりが多く、集まれる場所がある 【文化・芸術】 ・文化活動の中心地 ・お祭りやイベントがある 【教育・学校】 ・学校や学生が多く、お祭りに学生が参加してくれる
地域の弱み	【文化・人がいなくなった】 ・人材不足により、祭りやイベントが開催しにくくなっている ・寄井は祭りが無い 【交流・団結】 ・交流が限定的で、移住者との交流が少なく知らない人が多い ・高齢者や移住者の集まる場が少ない ・神領地域としてまとまりが弱い
地域の生活課題	【孤立・人とのつながり】 ・近所の助け合いができる人との繋がりが保てるか ・地域の交流が減れば、安否確認が難しい 【祭り・継承】 ・文化継承が希薄になる ・地区の祭りの継続 ・行事や風習を支える人たちの世代交代 ・伝統や文化を継承できる人がいるか



神領を元気にする合いことば 「まあやってみようだ」



【地区の状況・地域活動者数（一部抜粋）】 R 8.4.1 時点

■人 口	1481人	■世帯数	785世帯
■高齢化率	41.9%	■部落数	41 地区
■1人暮らし高齢者数	163名	■民生委員・児童委員	8 名
■老人クラブ会員数	121名	■高齢者サロン	2箇所
■教育関係	5箇所		
■防災関係	消防団神領分団 7部 自主防災組織 2地区 避難場所 7箇所		
■主な団体	神領地区チャレンジ神山推進協議会、神領地区民生児童委員協議会 神領地区老人クラブ、神山町消防団神領分団 ほか		

タイトル	目 標	なにを・どうする
あいさつ運動	・あいさつをし、近所の人と関わりをもつことで安否確認に繋げる	・戸主会や防災など地域のLINEグループをつくる（ビジネスラインアットの活用） ・ウォーキングラジオ体操（防災無線、回覧板、神山広報） ・熱中症や悪天候時に声かけをして状況を把握する ・灯りの有無を確認する等ハードルを下げた取り組みをする ・自分が毎日歩くコースを決めて歩く ・両隣にあいさつをする ・「あいさつしてもいいよ」という札をつくる
マッチング	・イベントをする人と手伝いたい人をつなげる仕組みづくり	・問題を知らない若い人も多いため状況、情報をシェアする ・アプリを作成する（高専生に依頼、住民票がある人は登録） ・掲示板を作る。大埜地にある掲示板を活用し情報発信をする（掲示板にパトランプがあると分かりやすい） ・回覧板やバンビで情報を発信
交流	・お祭りなど神領全体で集まれる機会や場所をつくる	・防災訓練を継続させ、内容を増やしていく ・神山町のこまかな防災マップをつくる ・今あるお祭りに神領●●祭りと名前を付ける（許可の確認をする） ・新神領公民館を作ろう
文化継承	・高齢者や子どもとの文化交流、継承 ・ボランティアに頼らない仕組みづくり	・若い世代が一人でも残ってもらえる町づくりをする ・授業に踊りや伝統芸能をとりこむ ・師匠さんが元気なうちにアーカイブに残す